

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	○災害対策 二次避難所の確保と非難のタイミングを考えた訓練の実施が必要	当年7月に大雨あり、その時の経験を基に地域の皆さんと一緒に避難訓練を実施、地域の方と避難経路、箇所の見直しをおこなっていきたい。	運営推進会議にて話し合いの場をもうけ、地域の住民のかた、消防団、近くの施設の皆さんと一緒に避難経路、箇所を具体的に決めていく。近くの施設様とはお互いに利用者の避難場所として施設の機能を活用できるよう一緒に訓練を行っていく。	12ヶ月
2	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 両棟が共に利用者、家族の意向に沿った対応ができていない	両棟共に利用者、家族の意向に沿った対応ができるようこころがけていく。	終末期に対する職員の不安を軽減させる為に看取り経験のある棟の職員から話をきく場を設ける。人員の余裕や医療関係者との協力体制を強く保つ。利用者、家族さん側にもできることの範囲を明確に伝え、無理を職員に押し付けないようにする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。